

# 平成 29・30 年度人権教育研究指定校の実践

## 三島市立山田小学校

### ●研究テーマ 自己肯定感を高め、他の人も大切にすることの育成 ～自分も大事 みんなも大事～

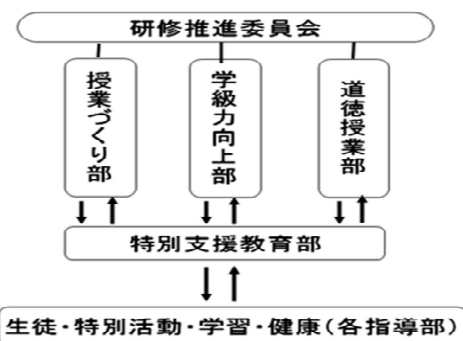
### ●全校で取り組んだ人権教育の実践例

- 4部の取組 …授業づくり部、学級力向上部、道徳授業部、特別支援教育部  
 学校全体の取組 …廊下を歩こうプロジェクト、人権コーナー（ありがとうロード）、ペア活動、あいさつ運動  
 家庭・地域との連携…本読み隊、親子奉仕作業、防犯・防災宿泊体験、道徳の授業、人権教室の公開、意見交換会、保護者アンケート

### ●主な取組

人権尊重の視点に立った学校づくり

廊下を歩こうプロジェクト



授業づくり部	学級力向上部	道徳授業部
<b>目指す子どもの姿</b> 自ら追求し、互いに認め合いながら、問題を解決しようとする子	<b>目指す子どもの姿</b> 自分や友達の良さを生かし伸ばし合う子	<b>目指す子どもの姿</b> 自分の思いを伝えることができ、友達の良さに気づく子
<b>仮説</b> 「わかった」「できた」という経験を得ることによって自己肯定感が高まるだろう	<b>仮説</b> 話し合い活動を通して、他者対話し合いながら協働することで、互いの良さががんばりに気づき、友達を大切にできる姿が見られるだろう	<b>仮説</b> 自分の考えや思いを素直に出し合うことで友達との考えの違いや良さに気づくことができるだろう
<b>手立て</b> ○主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善	<b>手立て</b> ○i-checkを活用した個と学級の集団状況の把握 ○学級力レーダーチャートを活用した議題・題材づくり ○具体的なルールを示した話し合い活動	<b>手立て</b> ○ケースメソッド教授法をとり入れた授業 ○わかる→つなぐ→生かす授業展開
<b>特別支援教育部</b>		

### ●児童の変容

相手の意見や思考を大切にすること / 友達の意見に共感の反応をする / 道徳への意識が高まる / 協力する喜びや自己肯定感が高まる

### ●取組の成果

教室掲示や板書のユニバーサルデザイン化によりどの子どもにもわかりやすい授業 / R-PDCAサイクルと振り返りの充実 / 家庭・学校・地域一体としての人権教育

■学校全体の雰囲気落ち着いた。■安心して学習し、目標を意識することで最後まで頑張れる子が増えた。  
 ■対話により自信を持って課題に取り組み新しい考えを生む様子や、学級会で決まったことを守ろうと子ども同士で声を掛けあう様子が見られ、自分の思いや考えを伝えようとする力がついた。■子どもの教育的ニーズに応じた対応によって、自分でできた・わかったという体験ができた。■合理的配慮に基づく支援が浸透したことで、子どもも教職員も人権感覚が高まったと感じる。■校内支援委員会ではSSWやSCをメンバーに加え、週時程の中に設定したことにより、情報の共有化、チームとしての対応を検討でき、大変有効だった。